

考えるテーブル

四ツ谷四方山考現学

よつやよちやまごっけんがく

～杜の都のつくりかた

水の都のつくりかた～

「四ツ谷用水」って聞いたことありますか？東京の怪談で有名なところ…ではなく、約400年前、洪積台地上に立地し水の便が悪かった当時の仙台の町を隅々まで潤すために、伊達政宗が作らせた水路です。

考えるテーブル「四ツ谷四方山考現学」では、かつて仙台城下を縦横無尽に流れていた四ツ谷用水について、これまでの歴史や懐かしさだけに留まらず、現在の、そしてこれからのあり方まで、皆さんといろいろな視点から語り合いたいと考えております。

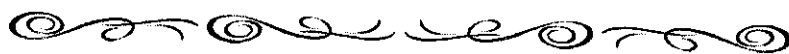
四ツ谷用水について初めて耳にするかたも、もっと知りたいというかたも、どうぞ気軽にご参加ください。

第2回「身近にあった水辺と暮らし」

にしおおたちめ しょうこ
おはなし **西大立目 祥子さん** 青空編集室・フリーライター

平成25年3月17日(日) 14時～15時30分
(30分ほどのお話の後、テーブルごとに参加者同士が話し合います)

会場 **せんだいメディアテーク7階 スタジオa**
参加無料(申し込み不要)
当日直接会場へおこしく下さい。



主催：四ツ谷用水再発見懇話会／せんだいメディアテーク

事務局：仙台市環境局環境対策課

問い合わせ：仙台市環境局環境対策課水質係

TEL：022-214-8223 FAX：022-214-0508

考えるテーブルとは

人が集い語り合いながら震災復興や地域社会、表現活動について考えていく場を「考えるテーブル」と題して7階スタジオに開きます。



<http://www.smt.jp/thinkingtable2012/>

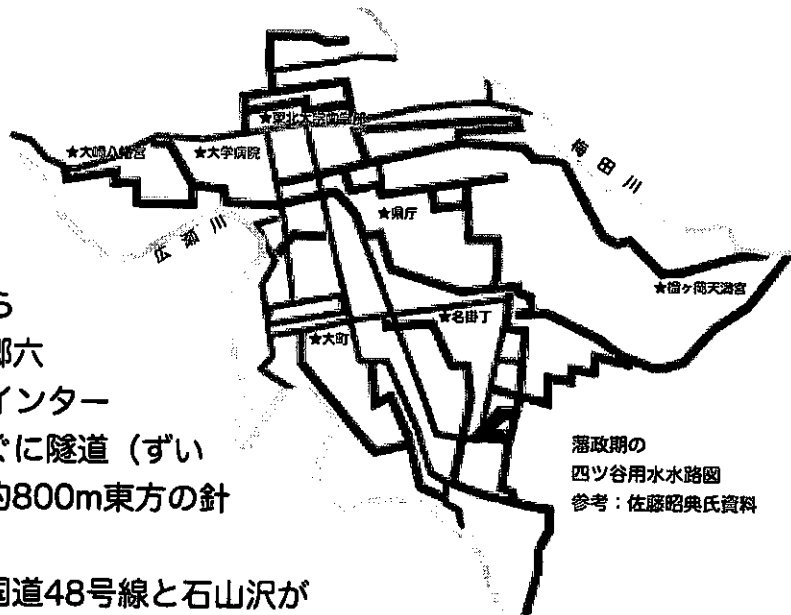
この用紙はリサイクルできます

四ツ谷用水って？

四ツ谷用水は伊達政宗公が城下の水利の不便さを憂い、家臣川村孫兵衛重吉に命じて広瀬川の水を城下に導くために作らせたものです。用水路は、郷六（東北自動車道・仙台宮城インター近辺）にある取水口からすぐに隧道（ずいどう・トンネル）となり、約800m東方の針金地区に顔を出します。

そこから直角に北進し、国道48号線と石山沢が交わる所でまた地中に潜り、国道48号線の北側・八幡地区を経て市内を縦横に巡る生活用水として使用されました。

高度成長期以降、ほとんどの部分が暗渠化（川や用水を地下に埋めたり覆いをかぶせて地上から見えなくすること）されてしまいました。現在は、「四ツ谷の水を街並みに！」市民の会の活動で設置された標柱や、勾当台公園などのモニュメントに当時の四ツ谷用水をしのぶことができます。



藩政期の
四ツ谷用水水路図
参考：佐藤昭典氏資料

にしおたちめ しょうこ

西大立目 祥子さん プロフィール

フリーライター。市内中心部でまち歩きを行い、原稿を執筆してきた。仙台市広瀬川創生室のHPに、2004年から「広瀬川の記憶」と題したエッセイを執筆。昭和30年代～50年代に撮影された写真の現場を歩き取材を重ねながら、市民と川のかわりを探っている。2006年には市民有志で「まち遺産ネット仙台」を結成、歴史的建造物の調査や保存活動を行うほか、2008年からは陸奥国分寺薬師堂の境内で「お薬師さんの手づくり市」を開催。時間の積み重なりを大切にしまちづくりをめざし活動している。

著書

- 『仙台とっておき散歩道』（無明舎出版）
- 『仙台まち歩き』（河北新報出版センター）

会場アクセス

gmt せんだいメディアテーク
sendai mediatheque

住所 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
アクセス 仙台市営バス 仙台駅前-29番（庄内銀行前）のりばから「定禅寺市役所前経由交通局大学病院」行き（系統番号J410）で約10分、メディアテーク前下車

